

ごあいさつ

富士通では、1996年に最初の環境活動報告書を発行して以来、毎年、版を重ねるごとに環境問題に対する企業の情報公開の在り方を見直してまいりました。その中で、温暖化や廃棄物問題など地球規模の環境問題が深刻化する状況においては、本報告書の果たす役割はますます大きくなってきたと認識しております。

この報告書は、富士通の環境問題に対する1997年度の活動実績をまとめたものですが、単なる成果の報告に止まらず、取組み姿勢を正しく理解していただけるようなデータの公開を重視して作成いたしました。

富士通では、「地球環境と人間活動の調和という人類共通の目的に向けて、当社の持てるテクノロジーと創造力を十分に発揮していく」という「富士通環境憲章」の基本理念を実践するため、地球環境保全を経営の重要課題の一つに位置づけ、研究・開発から廃棄・リサイクルまでの事業活動のあらゆる段階において全社規模で取り組んでおり、着実に成果をあげております。

1997年度は、環境マネジメントシステム(ISO14001)の国内全製造工場での認証取得を完了し、また、他社に先駆けて全国をカバーする使用済製品のリサイクルシステムを構築することで、リサイクル率を大幅に引き上げました。

現在は、環境マネジメントシステムの認証取得を国内外のグループに拡大しており、また、従来の環境に配慮した製品をレベルアップしたグリーン製品の開発強化、工場・事業所での省エネルギー、および化学物質の排出削減などを重点項目として取り組んでおります。

今後も、規制に先行した自主的な活動を拡大し、地球環境と人間活動の調和に一層寄与するよう取り組んでいく所存です。また、この報告書が情報公開本来の役割を発揮するよう、各位のご意見・ご提案を活動に反映させていきたいと考えておりますので、富士通の取組み姿勢をご理解いただく上でお役に立てれば幸いです。

富士通株式会社 代表取締役社長

秋草通之

